

[月刊]

2008. NOV

平成20年11月10日

岩手よもっと
元気になれ!

(財)いわて産業振興センター広報誌

産業情報 いわて

Vol.

80

CLOSEUP
岩手力!

株式会社ラング

支援企業紹介

募集

いわて希望ファンド 地域活性化支援事業
下請取引改善講習会

お知らせ

5S実践基礎講座
合同商談会 北上会場

報告

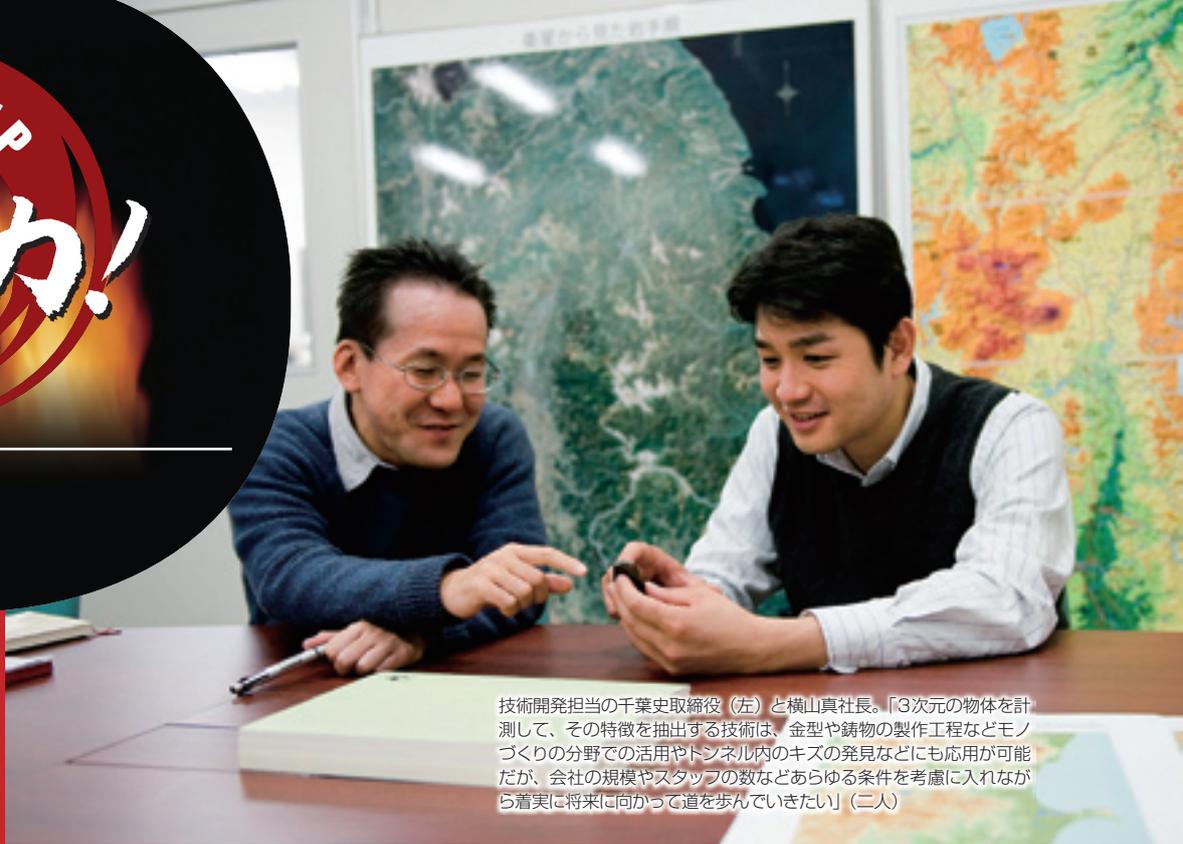
ビジネスプラングランプリ2008
地域力連携拠点事業 地域資源活用

CLOSEUP

岩手カ!

支援企業紹介

株式会社ラング



技術開発担当の千葉史取締役（左）と横山真社長。「3次元の物体を計測して、その特徴を抽出する技術は、金型や鋳物の製作工程などモノづくりの分野での活用やトンネル内のキズの発見などにも応用が可能だが、会社の規模やスタッフの数などあらゆる条件を考慮に入れながら着実に将来は向かって道を行ってみたい」（二人）

3次元デジタルデータを活用した 特徴線画像の抽出・処理技術で 遺物アーカイブ事業を柱に成長させる

地形解析の技術を 遺物の形状計測に応用

同社は「物体表面の特徴線の自動抽出方法」（特許取得済）という独自技術を活用して、考古遺物の図化業務の省力化・高精度化をはかるシステム（ラングシステム）を開発、自治体や教育委員会、埋蔵文化財センターなどとの取り引きを柱に成長を続けている。

文化庁によると現在、埋蔵文化財の存在が知られている土地は全国で約44万カ所があり、文化財保護法に基づいて毎年8千件以上の発掘調査が行われている。調査に伴って作成が義務づけられる報告書には、石器や土器などの考古遺物の実測図が掲載されるが、その際の形状計測や描画の作業は、三角定規やディバイダーなどを使って人がこつこつと手描きで行ってきた。ラングシステムを活用すれば、この作業の自動化や省力化が図られ、作図時間の短縮などで経費節減が実現できる。

ラングシステム開発のきっかけは会社設立の2年前、2001年にさかのぼる。大学時代に考古学を専攻した横山真社長は当時、父親の隆三氏（当時岩手大学情報システム工学科教授）の研究室で、現取締役の千葉史氏

（当時岩手大学助手）と共に、衛星データを基にした地理情報システムに遺跡情報を入力する仕事を手伝っていた。ある日、横山氏は研究室に貼ってある山のポスターを見てアイデアがひらめく。

「それは衛星データを画像解析した山の写真のポスターで、山や谷の稜線がくつきりと映っていました。それが石器の割れ箇所にも類似していて、この技術は石器の形状計測に応用できるんじゃないかと思いついたのです」

横山氏はこのアイデアを千葉氏に打ち明ける。話を聞いた千葉氏もすぐに乗った。

「すごく具体的で実際に社会に役立つアイデアだったので、とてもおもしろいと思った」



遺物は、日本人や国家の成り立ち、技術の発展など過去のさまざまな文化情報を秘めた重要な資料である

ラング（本社・盛岡市）は2003年4月1日、岩手大学発のベンチャー企業として設立。地形情報処理技術を活用して、考古遺物の3次元形状計測や図化事業を行っている。埋蔵文化財の報告書作成の予算がしだいに縮小されている中で、作業の効率化に貢献する同社の事業は関係者から大きな関心が寄せられ、当初の東北エリアでの展開が、昨年から関東、東海地区へと広がってきている。

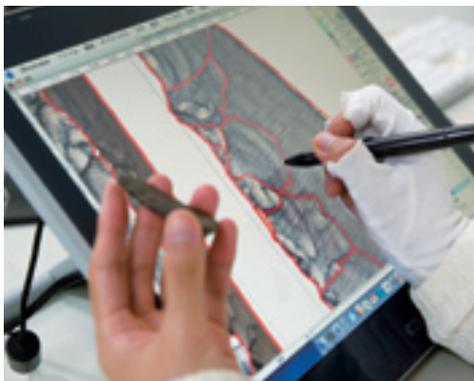
センターのコーディネーターで 2度の転機に補助金確保

二人は県工業技術センターの設備を利用して実験を進め、アイデアの実現性を確認。横山教授も参加し、翌年の02年度(平成14)には、いよいよシステムの具体化のために動き出す。この時に相談したのがいわて産業振興センターで、横山研究室は同センターのコーディネーターから科学技術振興機構の「地域研究開発促進拠点支援(RSP)事業」の紹介を受け、民間の東北NSソリューションズとの共同研究として「考古遺物形状のデジタル計測・図化システムの開発」を受託する。

さらに03年度には上記RSP事業の企業化を目的に株式会社ラングを設立(4月1日)、営業活動を本格的に開始した。

同社の技術の根本にあるのは、冒頭の「物体表面の特徴線の自動抽出方法」。人工衛星を使って地形や環境を測定するリモートセンシング(遠隔探査)と呼ばれる分野の第一人者として知られる横山隆三氏の研究成果の一つだ。この成果を活用して、レーザー走査で取得する3次元形状データに、特徴線抽出処理技術を適用して実測図を作成するのがラングシステムだ。

同社で技術部門を統括する千葉氏は、「横山教授の特許を用いた遺物の形状解析処理は、従来の方式に比べ品質、作業効率面で格段の差が見られ、競合他社との大きな差別化になっている」と強みを説明する。また、遺物形状を「立体再現性」を持った3次元デジタルデータとして取得・解析することで、処理や表示内容をさまざまな形に展開、応用できる。横山



3次元形状データを解析処理して抽出した特徴線画像をタブレットに表示し、作図者が実物を観察しながら描画ソフトを用いて各種の特徴を書き入れていく。最終的に人手によるニュアンスが加わった高精度な実測図が出来上がる

ラングが開発した実測素図を自動作成するシステムによって作成された形状特徴線抽出画像「PEAKIT2」。高速な処理が可能で、石鏃(やじり)程度の大きさの石器であれば、工期1カ月で平均2~300点ぶんの「PEAKIT2」の納入が可能という



社長が言う。

「特徴線画像は石器実測図の素図として利用することはもちろんですが、断面図に展開したり、回転させて上下左右などから器形を解析することも可能。また保存・管理も容易ですので、最初は素図の状態にしておいて、あとから用途に合わせていろいろと処理することもできます」

同社の特徴線画像の抽出・処理技術(商品名「PEAKIT」)の評判は、会社設立以来、口コミなどで関係者の間に次々と広がる。会社設立初年度こそ赤字を計上したが、その後は黒字で推移してきた。その間もさらなる技術の向上と改良に努め、今年度は「技術課題等を解決する」ことを主旨の一つとする科学技術振興機構の研究成果育成事業「地域ニーズ即応型」に申請が採択され、500万円の研究費を確保した。

千葉取締役は「今回の申請にも、いわて産業振興センターのバックアップがあった」。横山社長も「センターにはさまざまなお得な情報が集まっているので、相談して活用させてもらうのがいい」と話している。



企業概要

- 設立 2003年4月1日
- 代表取締役 横山真
- 資本金 1050万円
- 所在地 盛岡市飯岡新田1地割27番地3 盛岡市新事業創出支援センターB3棟 電話 019-634-0906
- 従業員数 社員5名(うち役員3名)、パート社員7名

URL
<http://www.lang-co.jp/>

今月の表紙 / (左から) 北田暁香さん、今田峰子さん、技術開発担当の千葉史取締役。明るく若々しい社風がうかがえる。「インディ・ジョーンズの映画は好きだったのですが、考古遺物に関しては何も知識がない状態で入社しました。初めて知るばかりで毎日が新鮮です」(北田さん)。「当社の処理技術はどこにもない独自なものなので、入社してから約3カ月をかけて技術を修得しました。もともと考古学に興味があったので、遺物に触れられる機会があるのは楽しいですね」(今田さん)

よこやましん
横山真代表取締役

1972年、岩手県滝沢村生まれ。盛岡一高・明治大学文学部史学地理学科考古学専攻・法政大学大学院人文科学研究科修士課程修了。03年4月会社設立時に取締役就任。森一夫、横山隆三のあとをうけ07年3月、3代目の代表取締役社長に就任。千葉取締役が「仕事の次に愛しているのが愛犬」と言う犬好き。多忙の日々を送るが、ビーグルとフレンチブルドッグの2匹の愛犬と過ごす時間が唯一の気の休まるとき

いわて希望ファンド 地域活性化支援事業を公募中です!!

3次公募

11月25日(火)
まで

県内中小企業等の革新的・個性的な取組みにより地域経済の活性化を図るため、創業、経営革新に向けた取組みについて助成金の交付と専門家の派遣等のソフト支援によって総合的に支援します。

〈事業メニュー〉

〈起業・新事業活動支援事業〉

創業・起業や経営の革新に資する中小企業等の以下の取組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発又は事業化、販路開拓、人材養成等～

【対象者】・創業する者
・中小企業者(法人又は個人事業者)
・特定非営利活動法人(NPO)、農事組合法人等(地域資源活用枠のみ)

①地域資源活用枠

「地域資源」(農林水産物、鉱工業品又はその生産技術、文化財や温泉等の観光資源など)を活用する事業

【助成率】1/2

(大船渡、釜石、宮古、久慈及び二戸振興局管内の者が同地域で取組む事業は2/3)

【助成限度額】200万円 **【助成期間】**3年以内

②起業・経営革新枠

創業者(創業・起業から3年以内)が取り組む事業又は経営革新計画の承認を受けた事業

【助成率】1/2 **【助成限度額】**500万円

【助成期間】3年以内

〈中心市街地活性化支援事業〉

中心市街地や商店街の活性化に向けての革新的な以下の取組みを支援

～市場調査・動向調査、新商品・新役務の開発又は企業化、販売促進・販売力強化、業種構成再編・遊休資産活用～

【対象者】・中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項各号に掲げる者
・小売・サービス業(飲食店を含む)を営む県内に住所のある中小企業者(法人又は個人事業者)
・商工会、商工会議所
・知事が適当と認める特定非営利活動法人(NPO)

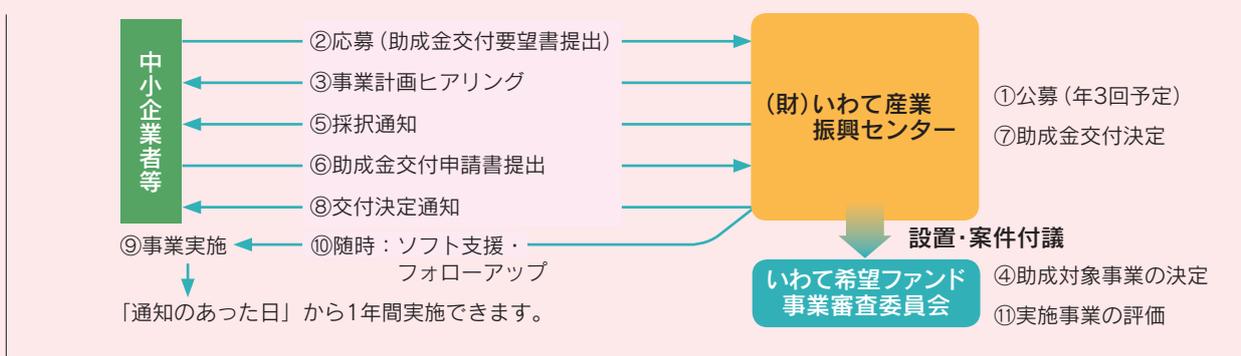
【助成率】9/10

(店舗賃借料については、「店舗賃借料/月×月数(助成対象期間×1/3)の算式によって算出された額の9/10」)

【助成限度額】200万円 **【助成期間】**3年以内

支援機関による支援事業はテーマを定めて必要性が生じた都度公募予定

〈事業実施に向けた手続きの流れ〉



〈公募期間〉

平成20年11月4日(火)～平成20年11月25日(火)17時必着のこと

〈対象事業の決定方法〉

いわて希望ファンド事業審査委員による、書類審査(一次)と面接審査(二次)により2月に決定します。

●詳しくはホームページをご覧ください

(財)いわて産業振興センター 総合支援グループ担当/石村までお問い合わせください。

TEL. 019-631-3826 E-mail: joho@joho-iwate.or.jp

「5S実践基礎講座」 成果報告会・概要紹介

当センターでは、本県のものづくり基盤を支える優れた産業人材を育成するため、17年度から新たに製造業に特化した「いわてものづくりアカデミー」を開催しています。

その中でも「5S実践基礎講座」は、集合研修の座学にとどまらず、参加企業の工場現場で「整理・整頓・清掃・清潔・躰」の5S活動を行う実践的コースとなっており、この活動を通じて、参加企業の工場における問題の「見える化」とその問題を解決するための改善の実施を目的としています。

約5ヶ月間にわたる研修では、個別企業訪問指導や集合研修によるフォローアップを行うことにより、参加企業の5S活動を支援してきました。

活動内容		開催期間 5月14日～10月16日 受講者数 4社8名
講師	(財)社会経済生産性本部 主席経営コンサルタント 高田晴弘氏	
トレーナー	竹内真空被膜(株) 大松好則氏、美和ロック(株)盛岡工場 佐藤隆洋氏	
集合研修 (5/14)	5S改善の必要性、5S改善と見える化の進め方、5S改善事例、2S改善シートの作成と発表 等	
訪問指導 第1回(6/19～20) 第2回(9/11、29)	2S改善シートに基づく改善実施プランの作成、 講師・トレーナーの個別企業訪問による実践指導(第2回はトレーナーのみの指導)	
フォローアップ (8/25)	各社の5S改善状況の中間報告とそれに対する講師・トレーナーの指導	

成果報告概要

成果報告会は10月16日(木)に、各社プレゼン方式で行われました。報告会には受講者のほか上司なども参加し、その報告内容を真剣に聴き入っていました。各社それぞれ4～9テーマを掲げ、各テーマについて、①「まずやってみる」、②「実施結果について問題を発見する」、③「解決策を検討する」、④「解決策を実施する」というプロセスを繰り返して取り組み、現場カイゼンの成果を上げることができました。以下に各社の主な成果を挙げます。今後、各社ともこれまでの取り組みを定着・継続し、更なるレベルアップを期待しております。

 <p>改善前</p>	 <p>改善後</p>	 <p>改善前</p>	 <p>改善後</p>
<p>1 付属品置場の整理整頓 (株)エツリコエンジニアリング ⇒専用ラックを作成し、客先毎・使用順に容易に配列ができるようにした。</p>		<p>2 リーマー棚の整理整頓 (有)ジーエフトップ ⇒寸法ごとに箱に収納・配列し、表示を明確にした。</p>	
 <p>改善前</p>	 <p>改善後</p>	 <p>改善前</p>	 <p>改善後</p>
<p>3 資材庫室での適正在庫の管理 (株)阿部繁孝商店 ⇒資材の適正在庫数量を定め、赤テープで表示することにより、資材発注するタイミングを見える化した。</p>		<p>4 樹脂置場の整理整頓 (株)三陸技研 ⇒樹脂置場内の樹脂缶収納数量を決め、同置場内に樹脂の配合場所を配置することで、作業の効率化を図った。</p>	

IWATE Business plan Grandprix 第4回 いわてビジネスプラングランプリ



ビジネスプラン発表・公開審査

グランプリ受賞祝賀会(交流会)

11/20

(木)

会場:盛岡市・ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウイング 4階

ビジネスプラン発表・公開審査
グランプリ受賞祝賀会(交流会)

午後1時から午後5時40分(入場無料)

午後5時40分から ※希望者のみ(会費4,000円)

主催 財団法人いわて産業振興センター

共催 いわて起業家サポーターネットワーク会議構成機関

〔岩手県、岩手県商工会議所連合会、岩手県商工会連合会、岩手県中小企業団体中央会、国立大学法人岩手大学地域連携推進センター、公立大学法人岩手県立大学地域連携研究センター、フューチャーベンチャーキャピタル(株)〕

【スタートアップ部門】	《事業プラン発表者》	【イノベーション部門】
<p>事業者名 グラダ・モール(土屋ひろみ)</p> <p>事業プラン名 アンバーサロン@石割プロジェクト ～介護予防と企業の業績向上をつなぐ企画提案～</p> <p>事業概要 地域に高齢者交流の場所(アンバーサロン)を作り、このアンバーサロン内で企業に商品販売等の機会を提供、高齢者世代の新しい体験と元気を目指し取り組みです。</p>	<p>事業者名 株式会社阿部総業</p> <p>事業プラン名 バイオマスバーナーの開発</p> <p>事業概要 木質チップはもちろん、これまで敬遠されていた抜根、畜産堆肥等ケイ酸分の多いバイオマスも燃料として利用できるバイオマスバーナーを開発。原油高騰対策として自信をもって提案します。</p>	<p>事業者名 株式会社エイブ</p> <p>事業プラン名 リサイクル古着店「ドンドンダウン オン ウェンズデー」の店舗展開</p> <p>事業概要 古着や雑貨を主な商材に「毎週水曜ドンドン値下げ」する販売システムや買い取りを全て断らない等の手法により、リサイクル古着の日本一を目指しています。</p>
<p>事業者名 株式会社アイブランツ・システムズ</p> <p>事業プラン名 3次元画像処理ビジネス</p> <p>事業概要 断面画像データを有効に活用するためには、2次元画像データを3次元へ再構成し、判りやすく可視化する必要があり、これを汎用パソコンで簡単に行う技術を開発し、岩手県立大学発のベンチャー企業として提案します。</p>	<p>事業者名 株式会社ハイブ</p> <p>事業プラン名 リサイクル古着店「ドンドンダウン オン ウェンズデー」の店舗展開</p> <p>事業概要 古着や雑貨を主な商材に「毎週水曜ドンドン値下げ」する販売システムや買い取りを全て断らない等の手法により、リサイクル古着の日本一を目指しています。</p>	<p>事業者名 有限会社アウィッシュ</p> <p>事業プラン名 ALL国産! 大人の犬服専門事業!</p> <p>事業概要 大人が楽しめる犬服メーカーブランドNo.1を目指し、インターネットをフル活用した岩手縫製王国復活へチャレンジ。</p>
<p>事業者名 株式会社オウル</p> <p>事業プラン名 IWATE 古民家プロジェクト</p> <p>事業概要 岩手県内に点在する、古民家や空き家を利用して宿泊村をつくり、古民家の共同オーナー制度、古民家・空き家の修復体験、オーナーや県外のお客様に岩手県産の食材定期便等のサービスを提供します。</p>	<p>事業者名 有限会社アウィッシュ</p> <p>事業プラン名 ALL国産! 大人の犬服専門事業!</p> <p>事業概要 大人が楽しめる犬服メーカーブランドNo.1を目指し、インターネットをフル活用した岩手縫製王国復活へチャレンジ。</p>	<p>事業者名 株式会社栄組</p> <p>事業プラン名 ライフサイクルコストを低減するコンクリート亀裂補修技術の確立と事業化</p> <p>事業概要 ライフサイクルコストを大幅に低減するコンクリート構造物の亀裂補修技術を確立し、住宅、建築物、インフラの長寿命化を実現します。</p>
<p>事業者名 株式会社オウル</p> <p>事業プラン名 IWATE 古民家プロジェクト</p> <p>事業概要 岩手県内に点在する、古民家や空き家を利用して宿泊村をつくり、古民家の共同オーナー制度、古民家・空き家の修復体験、オーナーや県外のお客様に岩手県産の食材定期便等のサービスを提供します。</p>	<p>事業者名 有限会社アウィッシュ</p> <p>事業プラン名 ALL国産! 大人の犬服専門事業!</p> <p>事業概要 大人が楽しめる犬服メーカーブランドNo.1を目指し、インターネットをフル活用した岩手縫製王国復活へチャレンジ。</p>	<p>事業者名 DESIGN 和手ぬぐいの店 ありすや</p> <p>事業プラン名 記念日に贈る「世界で一つのオリジナル手ぬぐい」の企画・制作・販売</p> <p>事業概要 メッセージが自由にプリント出来る、オリジナル手ぬぐいとして、記念日に贈る「世界で一つの贈り物」を提案します。</p>

過年度グランプリ受賞者による企業現況プレゼンテーション

有限会社イグノス(北上市)

画像処理による検査測定システム、ソフトウェアの受託開発、コンサルティングを主要業務とし、当社初の製品である「IP-View」(ラインセンサー開発キット)の開発が2006年のスタートアップ部門のグランプリを受賞。その後、2次元バーコード読み取りシステム、土壌簡易分析キット等を開発。画像処理技術をコアとして応用製品を開発している。

伊藤工作所(花巻市)

食品、薬品工場の設備加工、保全の傍ら、乳牛酪農作業でも過酷といわれる乳牛排泄物清掃の省力化設備を考案。この事業が2007年のイノベーション部門のグランプリを受賞。地元の加工企業数社と協働体制を組み受注に対応している。今年の販売目標台数12台に対し、県内機械メーカー等へ11台販売済。現在、いわて産業振興センターのいわて希望ファンドの支援を受け酪農家向けの新製品「ロールペールサイレージ用裁断機」の開発に着手している。

参加申込の方はこの参加申込書をFAX、またはいわて産業振興センターのホームページより申込願います。*定員になり次第締め切ります。(定員:150名)

FAX 参加申込書

[申込期限11月18日(火)]

氏名			勤務先等		
住所			TEL		
交流会 (希望者のみ)	(参加 / 不参加)	※必ずどちらかに○印を付けてください。			

*申込いただいた個人情報は、いわて産業振興センターが管理します。いただいた個人情報は、いわてビジネスプラングランプリにのみを使用することとし、第三者に提供しません。

お問い合わせ・お申込み先 (財)いわて産業振興センター 新事業・研究開発支援グループ

〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2 TEL 019-631-3825 FAX 019-631-3830 ホームページ <http://www.joho-iwate.or.jp>

地域資源を活用して岩手を元気にしよう

地域の強みとなる得る技術、農林水産物、観光資源等の地域資源を活用して新商品・新サービスの開発等に
取り組む中小企業の皆様を総合的に支援します。

地域資源とは…

「地域資源」とは、農林水産物、鉱工業品またはその生産技術、文化財や温泉等の
観光資源などです。

産地の技術



鋳物、繊維、漆器、陶磁器 等

農林水産品



野菜、果物、魚、木材 等

観光資源



文化財、自然景観、温泉 等

中小企業庁広報リーフレットより転載

地域資源活用プログラム(中小企業地域資源活用促進法)による支援

マーケティングに精通した専門家が、新商品、新サービスの開発・販売に取り組む次の条件を満たす中小企
業者の相談に応じ、市場調査、商品企画、販路開拓等に係るアドバイスなどハンズオン支援を行います。

- ① 岩手県が指定した地域資源を活用した取り組みであること
- ② 新規性があり域外市場への需要開拓を目指す取り組みであること

岩手県が指定した地域資源を活用した事業計画を策定し、国の認定を受けると次の支援を受けることができます。

ア 補助金(地域資源活用新商品づくり支援補助金)

地域資源を活用して新規性の高い新商品開発等に取り組む中小企業等に対し、試作品開発、デザイン改良、
展示会出展等に係る費用の一部を補助(事業費の2/3、助成限度額30,000千円程度)

イ 税の優遇措置

機械、装置等を取得した場合、取得価格の7%の税額控除又は30%の特別償却ができます。

ウ 保証・融資の優遇措置

政府系金融機関による低利融資、信用保証協会の債務保証枠の拡大ほか

注) 計画の承認は、支援措置を保証するものではありません。計画承認後、利用を希望する支援策の実施機関の審査が必要
となります。

いわて希望ファンド地域活性化支援事業による支援

地域資源を活用した新たな事業として認定された事業に助成して支援します。

(なお、地域資源は、「岩手県が指定した地域資源」に限定しません。)

【対象者】

- ①創業・起業する者
- ②中小企業者
- ③特定非営利活動法人、農事組合法人等

【助成額】

助成上限額 200万円 助成率 1/2以内の額

※ただし、大船渡、釜石、宮古、久慈、二戸地方振興局管内の者が同地域内で取り組む事業は、助成率2/3以内の額

センターでは、中小企業庁発行の下記冊子を用意しております。ご希望の方はその旨申し出ください。

今すぐやる経営革新



夢を実現する創業



事業承継ハンドブック



今チャレンジ新連携



中小企業施策ガイド



合同商談会・北上会場に294社、460人が参加



平成20年度の合同商談会・北上会場を10月23日に北上市・ホテルシティプラザ北上で開催しました。

今年度は参加企業数が発注64社、受注230社と昨年並みの企業数となり、商談件数も1,018件にのびりました。

また商談会を機会に県内受注企業を視察した発注企業も11社と例年より多く、今後の折衝経過に期待が持たれます。

下請取引改善講習会開催のご案内

この度(財)全国中小企業振興協会の主催により、下請取引適正事業の一環として、下請代金遅延等防止法をはじめとする関係法令等の普及を図ることを目的に「下請取引改善講習会」を下記により開催いたしますのでご案内いたします。

開催概要

- 【開催日時】平成20年12月4日(木) 13:30~16:30
- 【会場】「ホテルルイズ」盛岡市駅前通7-15 電話:019-625-2611
- 【受講費用】無料(但しテキスト代として2,000円負担いただきます)
- 【募集人員】80名(申込締切11月25日 ※締切前でも定員になり次第締切ます)
- 【申込先】(財)全国中小企業振興協会 03-5541-6688 担当:仁平、工藤



スタッフからひと言

コツコツと着実に!

総務・金融グループ
鎌田 洋平

日本にうれしい知らせが届いた。今年のノーベル物理学賞が、米シカゴ大名誉教授の南部陽一郎氏、高エネルギー加速研究機構名誉教授の小林誠氏、京都産業大教授の益川敏英氏に贈られるということだった。さらには科学賞に下村脩氏が決まり、2003年から途絶えていた日本人のノーベル賞受賞者は一気に16人となった。金融不安による世界同時株安など暗い話題が多いなか、久しぶりの明るい話題であったように思う。

南部氏は質量の起源を解明する理論の基礎をつくり「小林・益川理論」に引き継がれ、その理論は後に加速器の実験結果で証明され、現在では素粒子物理学の標準理論として受け入れられているという。理系音痴である私はその辺の事情には詳しくないが、基礎研究といえば実験などで長時間拘束され、かなり息の長い地道な努力が求められることは想像に難くない。応用重視の風潮のなかにあつての今回の受賞は、コツコツとやり続けてきた結果が花開いた本当に価値のある素晴らしいことであると思う。

企業経営や産業振興に関しても、基礎研究に通ずるものがあるのではないだろうか。地道に積み上げてきたものが、後になって思わぬ成果を生むことになる。

当センターでは、県内の産業振興を図るため、創業支援、企業や人材の育成支援、新産業や研究開発の支援など様々な支援を行っております。派手さはないがコツコツと県内の産業振興のために活動していきたいと思っております。